畑から雑草を撲滅するクリーン農業の強力 サポーター

畑から雑草を撲滅するために誕生した「みらくる 草刈るチ」シリーズ。
畦間だけを中耕・除草する３本爪カルチベーターとは異なりますが、単なる除草専用機でもありません。
「畦間の中耕・除草」だけではなく、「株間・根際の中耕・除草」もこなす、精密カルチベーター。
手取り除草の負担軽減や除草剤使用量の削減などに大きく貢献するクリーン農業の強力サポーターです。

みらくる 草刈るチ® シリーズ

「ALL IN ONE みらくる 草刈るチ」は、8本+αの爪の同時装着が可能なビームを持ち、各部の調整、取り扱いなども容易にできる。8種類のアタッチメントを標準装備とする最高峰「草刈るチ」。

1台で何役もこなす ALL IN ONE くさカルチ みらくる 草刈るチ®

フレーム重量が2型式の中間のは、「草刈るチJr.(じゅにあ)」ではで同時装着によるカマボコ培土な

深耕・培土もこなす みらくる 草刈るチ mid.(みどる)

「みらくる 草刈るチmid.(みどる)」きなかった深耕や、縦爪2本のどの重作業もラクラクこなす。

「みらくる 草刈るチJr.(じゅにあ)」は、フレーム重量がわずか200kg。きつい傾斜のある畑や小回りが必要な畑などで大活躍。27馬力クラスの小型トラクターから作業ができる最軽量「草刈るチ」。

小型トラクターで作業可能 みらくる 草刈るチ Jr.(じゅにあ)

みらくる草刈るチ®シリーズで コスト ダウン&収量アップ!!

３本爪カルチベーターとは異なり、株間・根際の除草もできる「**草刈るチ**」シリーズを使用すれば、より大きな経済効果、増収効果が期待できます。

① 中耕作業には、**地温上昇効果**があります。
② 深耕爪には、畦間サブソイラーと同等の**干ばつや湿害を防ぐ効果**があります。
③ 深耕爪により、**作物の根の発達を促進し、増収効果**があります。
④ 畦間サブソイラーのように１度に深く作用させる必要がないので、**活着した根をうかす心配がありません。**
⑤ 作業深度を徐々に深くできるので、**けん引抵抗が小さく**、小型トラクターによる作業が可能なので、**踏圧による作物への影響が軽減**されます。
⑥ 株間除草が可能なので、**人手による除草の手間を省く**ことができます**(投下労働量、人件費の削減)**。
⑦ 除草剤を使用した場合のような、**作物の生育遅延がありません。**
⑧ 定期的に作業を行えば、**除草剤の使用量を減らすことが可能**です。

これらの効果は、「**草刈るチ**」の使用頻度、ほ場の諸条件(土質や水分状態など)、その年の天候などによって変わることがあります。

ウィングディスク

m・AROTリーナ

草刈る　チによる処理前後

CMS株間輪

中期用株間クサトリーナ

みらくる草刈るチシリーズに中耕・除草　効果をもたらすアタッチメント

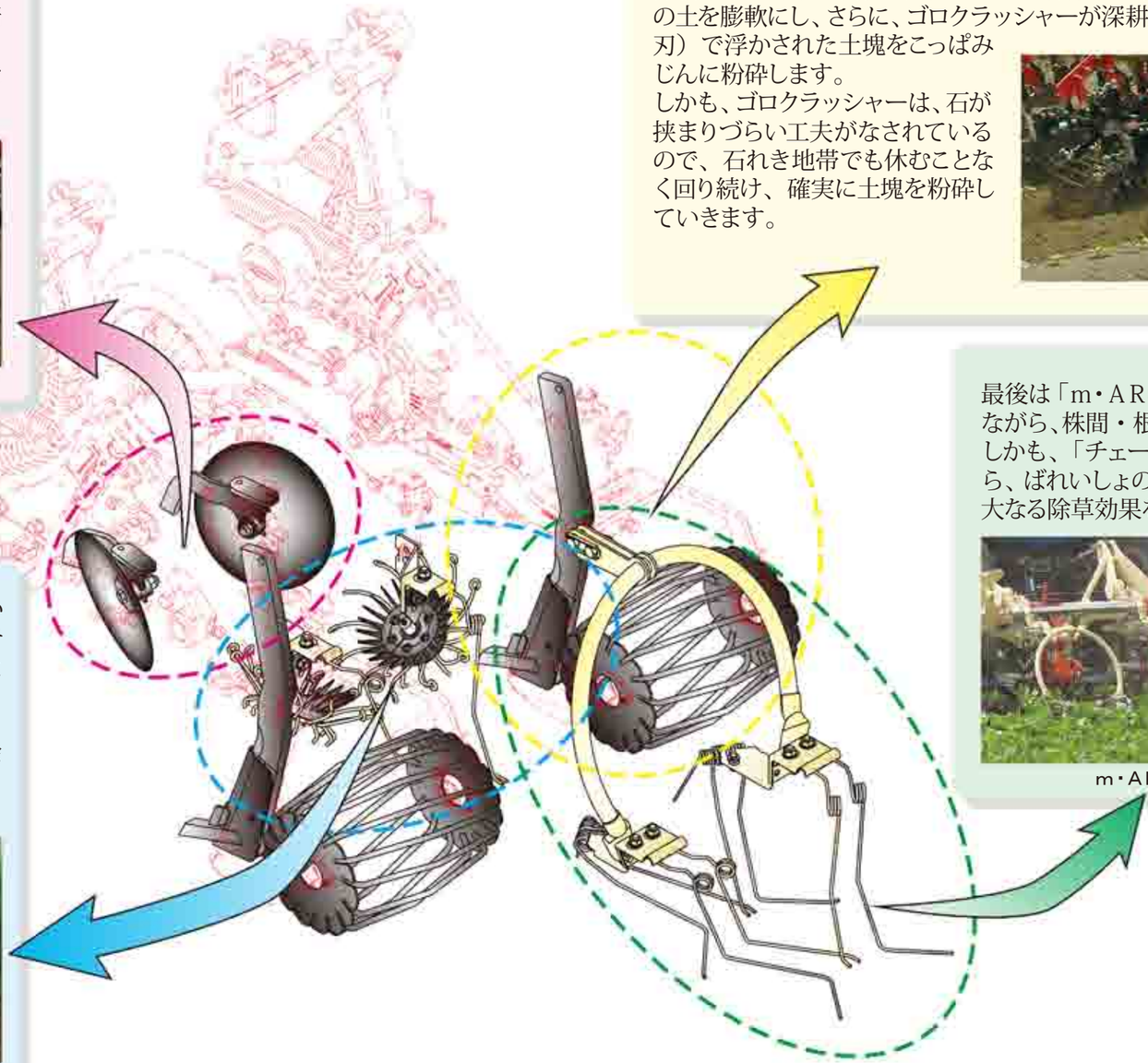
ウィングディスクは、作物に土をかぶせたくない初期除草にバツグンの効果を発揮。また、左右のディスクを逆に取り付け、土寄せのセッティングにすれば、ばれいしょの萌芽期培土にも使用できます。
中期以降は、ヤナギ刃で少しずつ土を寄せながら、根際を中耕・除草。

ウィングディスク

ヤナギ刃

畦間の中耕は深耕爪（ヒョウタン刃）とゴロクラッシャーにお任せ下さい。
深耕爪（ヒョウタン刃）が、トラクターで踏まれて硬くなった畦間の土を膨軟にし、さらに、ゴロクラッシャーが深耕爪（ヒョウタン刃）で浮かされた土塊をこっぱみじんに粉砕します。
しかも、ゴロクラッシャーは、石が挟まりづらい工夫がなされているので、石れき地帯でも休むことなく回り続け、確実に土塊を粉砕していきます。

ゴロクラッシャー



最後は「m・AROTリーナ」が、常に畦の中心に追従しながら、株間・根際をさらにキレイに除草・整地します。
しかも、「チェーン付くまで」への交換取付が可能ですから、ばれいしょの萌芽期除草や豆類の初期除草でも、絶大なる除草効果を発揮します。

m・AROTリーナ

チェーン付くまで

初期除草には「CMS株間輪」が、株間・根際の土を軟らかく攪砕しながら除草をしていきます。しかもストーンプロテクターが、石や土塊を寄せ付けないので、株間輪は休むことなく回り続け、能力を十二分に発揮できます。
さらに中期は、「中期用株間クサトリーナ」が作物を傷めず、成長した作物の株間・根際を這うようにキレイに攪砕・除草します。

CMS株間輪

中期用株間クサトリーナ

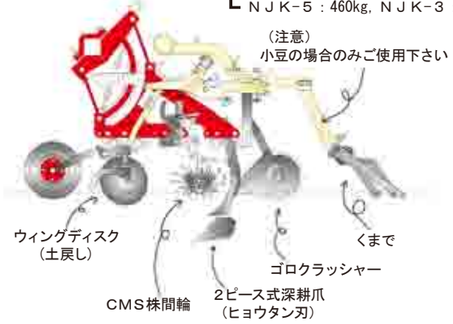
草刈るチ® だから実現できる {あんな作業 こんな作業

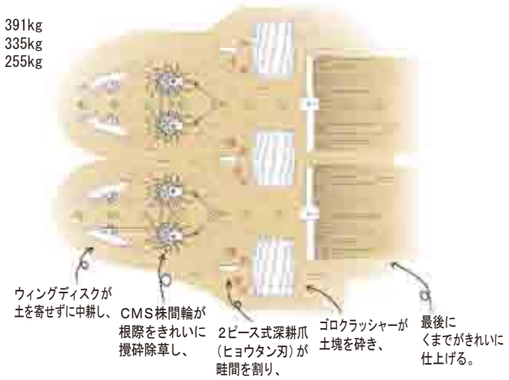
（詳しくは付属の取扱説明書をご覧下さい）

草刈るチシリーズは、従来の３本爪カルチベーターとは異なり、１本のビームに８本爪＋α（ＮＭＫ、ＮＪＫは５本爪＋α）の装着を可能とした中耕除草機です。
ですから、畑の状態・作物の生育状況等々、ご使用になる時の条件に合わせて、ご使用になる方の工夫次第で、バリエーション豊富にセッティングが可能です。
もちろん、基幹品目に代表されるビート・豆類・ばれいしょのセッティングについては、完全マニュアル化しておりますので、初めてお使いになる方でも満足してお使いいただけます。
ここにその数例をＮＡＫをモデルにご紹介します。

●小豆・大豆・移植ビートの初期

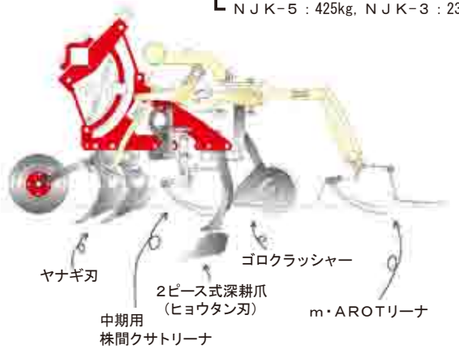
概算重量 ［ＮＡＫ－５：708kg，ＮＡＫ－３：391kg
ＮＭＫ－５：573kg，ＮＭＫ－３：335kg
ＮＪＫ－５：460kg，ＮＪＫ－３：255kg

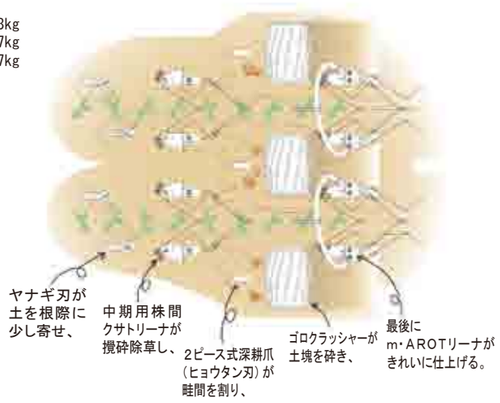




●小豆・大豆・移植ビートの中期

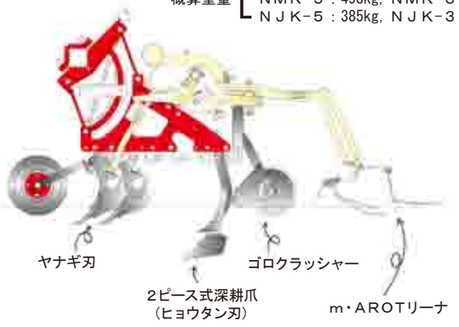
概算重量 ［ＮＡＫ－５：673kg，ＮＡＫ－３：373kg
ＮＭＫ－５：538kg，ＮＭＫ－３：317kg
ＮＪＫ－５：425kg，ＮＪＫ－３：237kg

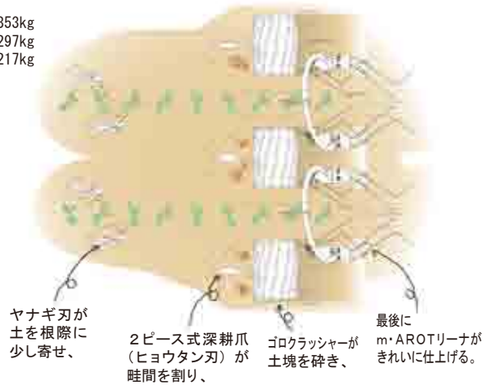




●小豆・大豆・移植ビートの後期

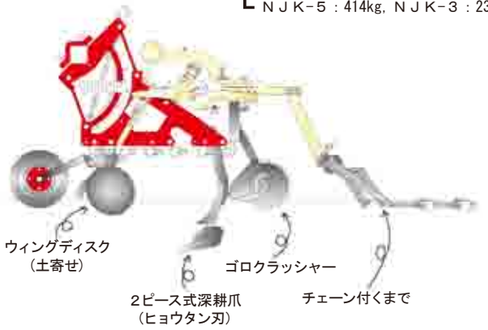
概算重量 ［ＮＡＫ－５：633kg，ＮＡＫ－３：353kg
ＮＭＫ－５：498kg，ＮＭＫ－３：297kg
ＮＪＫ－５：385kg，ＮＪＫ－３：217kg

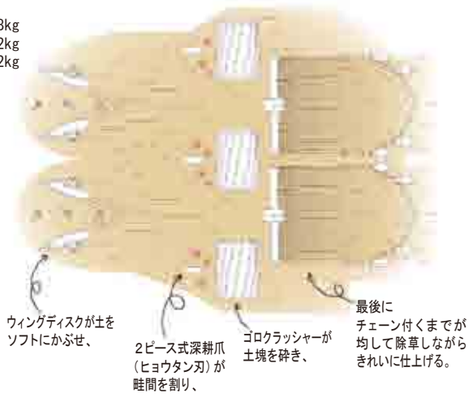




●ばれいしょの萌芽期

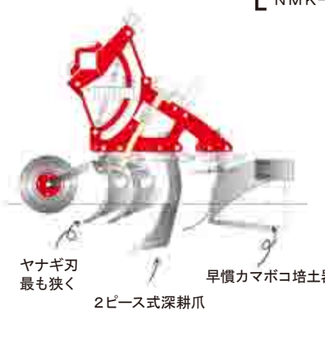
概算重量 ［ＮＡＫ－５：662kg，ＮＡＫ－３：368kg
ＮＭＫ－５：527kg，ＮＭＫ－３：312kg
ＮＪＫ－５：414kg，ＮＪＫ－３：232kg

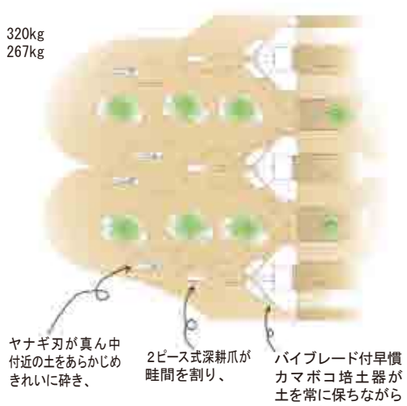




●ばれいしょの本培土期 （草刈るチＪｒ．（ＮＪＫ）はできません。）

概算重量 ［ＮＡＫ－５：564kg，ＮＡＫ－３：320kg
ＮＭＫ－５：434kg，ＮＭＫ－３：267kg





上手な使い方のポイント

草刈るチの性能を十二分に発揮させ、満足にご使用いただくためには下記の条件を整えることが大切です。
●播種、移植前の砕土を十分に行って土塊の量を最小限にしておくこと。
●豆類の播種深さは浅くなり過ぎないように（できれば3cm以上）すること。
●２畦移植のビートはあくまでも２畦処理に徹すること（m・AROTリーナを使用すれば中期以降の４畦処理が可能になります）。
●自己流よりもまずは取扱説明書に従って使用してみること。

草刈るチ

草刈るチシリーズに高精度な作業を提供する精密ボディ

文字の色により適応型式が異なります（緑色:NAK専用　黄色:NMK専用　橙色:NMK・NJK共通　青色:3型式共通）

●ねじクランプ・畦幅アジャスター

畦幅固定のための締め付けは、焼き入れボルトでガッチリですが、締め付け部に独特のねじクランプを採用しているため、緩めたり締めたりは付属の専用スパナを用いて、わずか“ナット半回転”でOKです。畦幅変更はねじクランプを緩めた後に畦幅アジャスターのハンドルを回して下さい。手で動かすととても重いカルチのユニットが、まるでうそのように軽々とスライドします。しかもフレームへの当たり面には「そり」状のプレートが装着されていて、フレームへの傷つきを最小限に抑えています。

ねじクランプ

畦幅アジャスター

●ワンタッチロック式軽々ツイストフォルダー

折りたたみ機構は、ねじれながらたたまさる独創のツイスト方式によって、わずか90°で全幅が大きく狭まります。しかもガススプリングのはたらきで軽々と持ち上がり、ロック機構もレバー操作のみのワンタッチ方式です。さらに広げるときもヒンジプッシュピンの働きでワンタッチで行えます。“丈夫なカルチはたたんだり、広げたりするのが重くて大変だ”という従来からの常識を根底からくつがえす画期的な機構です。

●可変2ステージサスペンション

独創のアイディア、斜め平行リンクによるサスペンションは、障害物に対して逃げることはもちろん、ダブルスプリングのはたらきで上下ストローク範囲に応じて硬さが２段階（ツーステージ）に変化します。つまり、豆類の除草などの軽作業時はしなやかかつ敏感に（当社ＡＤシリーズと同等の硬さ）反応し、培土・深耕作業などの重作業時は強く（当社ＮＣシリーズと同等の硬さ）受け止めてくれるというツーステージサスペンションです。しかもさらに、この“弱”から“強”へ変化するストロークポイントを付属の専用スペーサーの挿入によって簡単に変えることができるので、例えばタイヤ跡の畦間が極端に凹んでいる場合などでもゲージホイールが浮いてしまうことは全くありません。どんな場合にも常に一定の深さで爪を作用させることができる画期的な精密サスペンションです。

●ロータリースペーサー付チャックブラケット

深耕爪は最もけん引抵抗を受けるので、他の足や培土器類に比べて一段と太く、安全ボルトも強くなっていますが、交換の際にチャックや安全ボルトまで取り替えるのは面倒なものです。でもご安心下さい。このロータリースペーサー付チャックブラケットを採用することで、チャックやボルトを取り替えることなく簡単に足を交換できます。しかもヤナギ刃・ウィングディスク・ＣＭＳ株間輪などとの併用も可能にする独創的な構造で、１本のビームにホイールブラケット１つ、チャックブラケット２つが付いているので、縦足２本と横足６本の合計８本の足の同時装着を可能にし、爪カルチとしての機能を飛躍的に向上させました。

●ロワーリンクワンタッチヒッチ

ヒッチ部には、トラクターへの着脱が楽なロワーリンクワンタッチヒッチを採用。しかも、トラクターに合わせてヒッチ点の高さと前後方向をともに変えることができる構造なので、大型から小型まであらゆるトラクターに適応した理想的なけん引状態を提供します。

●着脱式ブラケット（特許）

ビームには４本のスライドシャンクを同時装着できるように４箇所のブラケットがありますが、その内の１つのブラケットが、深耕チャックによる固定となっており、着脱ができるので、ブラケットを外すことによって、縦爪２本の同時装着も可能です。

●3ポジションロック式軽々フォルダー

折りたたみは、スプリングのはたらきで軽々と持ち上がり、ピンの差込位置を変えるだけで５畦処理時と３畦処理時、格納時の３段階に簡単に変更できるシンプルかつ画期的な機構です。

●マルチアジャスタブルサスペンション（特許・意匠）

斜め平行リンクによるサスペンションは、作用強さを中骨バネガイド下部のピン取付穴に従ってピンの取付位置を変えるだけで４段階に調整できます。ですから、砂地など膨軟な畑では弱く、粘土地など表層が硬くなりやすい畑では強く受け止める調整が簡単にできるシンプルかつ画期的なサスペンションです。また、中骨バネガイド上部のストッパーボルトの取付位置を下に変えると、ホイールの位置を約５０㎜後方へずらすことができ、コルタイヤを使用する場合のトラクターのタイヤとの干渉を防げる親切設計となっています。

●引っ掛けスタンド（特許）

専用スタンドはピン不要の着脱方式で、フレームのスタンド取付部にスタンドフックを引っ掛けるだけのワンタッチ方式となっています。ですから、狭いところに体を入れて、ピンを抜き差しする煩わしさがありません。

●フリーホイールアジャスター

作用深さの調節はゲージホイール調整ハンドルを回すだけの完全ワンタッチ機構です。しかも正確な目盛り付きなので、各畦間ごとにねらった深さに一瞬にしてピタリとセットできます。もちろんNMK・ＮＪＫも８インチ大径タイヤ、コルタイヤ（１３インチ）の装着は可能です。

NAKのフリーホイールアジャスター

NMK・NJKのフリーホイールアジャスター

●タイヤスクレッパー（特許）

畑は湿っているけどどうしてもカルチ作業をしなければならない、湿った土がタイヤにベッタリと付いて外径が大きくなってしまう、タイヤの外径が変わるから作業深さが安定しない、そんな問題を解消するこの「タイヤスクレッパー」は、タイヤに付着した湿った土を削り取ってくれるので、タイヤの外径が変わりづらくなります。タイヤの外径が変わらなければ、作業深さは安定することになります。特に培土作業時に作業深さが安定します。

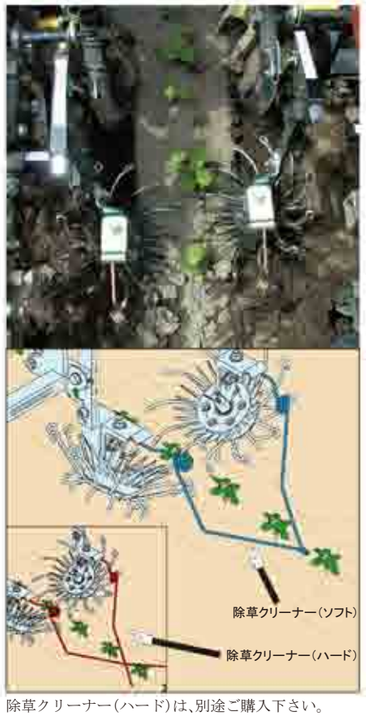
（５インチ、８インチどちらのタイヤでも装着可能）

草刈るチシリーズに高精度な作業を提供するアタッチメント

文字の色により適応型式が異なります（緑色:NAK専用　黄色:NMK専用　橙色:NMK・NJK共通　青色:3型式共通）

●CMS（シーエムエス）株間輪（特許）

豆類・ビートの初期における株間・根際の除草は、このＣＭＳ（Curved Mount Sprimg）株間輪におまかせ下さい。まずは前方の株間輪が作物の近傍の土に深さ約１㎝で作用し、作物から遠ざける方向に土をわずかに移動させながら均一に攪砕して雑草をグラつかせ、そこへすかさず後方の除草クリーナーがグラついた雑草の足元をすくうように作用し、土中に埋めたり地表に引きずり出したりして根こそぎ退治します。この、株間輪と除草クリーナーとのコンビネーションはまさに絶妙で、作物にやさしく、雑草にきびしく、まるでホーを通したような仕上がりを提供してくれます。また、カルチ本体のサスペンションとは別に、ユニットごとに独立したＣＭＳ機構装備の平行リンクサスペンションを備えているため、畑の微妙な凹凸に対してひとつひとつのＣＭＳ株間輪がそれぞれ単独で常に一定の作用深さを自動的に維持してくれるので、深さの調節は全く不要です。作物の種類・大きさや畦幅、オペレーターの方の運転技術に応じて幅をセットするだけでＯＫです。しかも、より効果的な作用をさせるために、株間輪と除草クリーナーとはそれぞれ別々に幅調整を行うことができる構造になっています。さらに、硬い土質や降雨後の硬い表層にも、付属の専用工具を使用してネジを回すだけで作用強さを強く、適切な対応ができます。また、１回目はウィングディスク、２回目はヤナギ刃との組み合わせでさらに威力が倍増します。除草の基本は「草を見ずして草を取れ」といいますが、雑草がまだ見えない位のうちに先手先手で繰り返し処理して下さい。ただし、このＣＭＳ株間輪の作用効果を最大限に発揮させるために、播種・移植の処理畦数とＣＭＳ株間輪の処理畦数は必ず同一にして下さい。加えて、播種・移植前の砕土を十分行って、土塊の量を最小限にしておいて下さい。なお、除草クリーナーには標準のソフトタイプ（イラストの青い部分）とは別に、除草効果をより高めるハードタイプ（イラストの赤い部分）も用意しておりますので、ほ場条件等に合わせて使用して下さい。



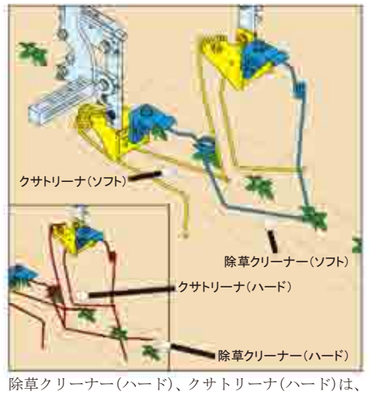
除草クリーナー（ハード）は、別途ご購入下さい。

●株間輪トガリ爪（特許）

ビートの移植や豆類の播種をした直後に雨が降り、表層にクラスト（硬い層）ができてしまった、今までの株間輪では十分に砕ききれない、そんな時は、この株間輪トガリ爪をご使用下さい。今までの先丸タイン形ブレードとは異なり、太く頑丈で２本の「トガリ」を持つこの爪が硬くなった表層をまるでスパイクで引っ掻いたように粉砕していきます。しかも作物に近い先端部は丸く、土への作用部だけが鋭角となった独特の形状をしているので、作物は傷めることなくやさしく、しかし硬い土はきびしく粉々に砕いていきます。ただし、砂地や火山灰系土壌などやわらかいほ場ではご使用をお控え下さい。太い爪が根際の土を削り取ってしまいます。あくまでも粘土系など表層が硬くなりやすいほ場の方にお勧めです。

●中期用株間クサトリーナ（特許）

豆類・ビートの生育中期における株間・根際の除草はこの中期用株間クサトリーナにおまかせ下さい。独自設計された２本のスプリングタインが、成長した作物の葉下の土を、一様な深さで攪砕しながら進みます。また、除草クリーナーとセットの状態で株間輪と交換できる構造となっているので、午前中は小豆に株間輪を、そして午後はビートにクサトリーナをと、めまぐるしく変わるカルチ作業時に、ナット１個を外すだけで簡単にセッティング変更できます。しかも株間輪の利点であるＣＭＳ機構と目盛り付きスライドシャンクがそのまま活かされるので、土質条件に応じて荷重をセットするだけで自動的に一定の作用深さを維持でき、また作物の種類等による幅調整もカンに頼ることなく目盛りに従ってより正確に、より簡単に行うことができます。なお、クサトリーナと除草クリーナーには標準のソフトタイプ（イラストの黄色と青色の部分）とは別に、ハードタイプ（イラストの赤色の部分）も用意しておりますので、ほ場条件等に合わせて使用して下さい。



除草クリーナー（ハード）、クサトリーナ（ハード）は、別途ご購入下さい。

●m・AROTリーナ（特許）

豆類・ビートの生育中期以降における株間・根際の除草効果を飛躍的に向上させるには、この「m・ＡＲＯＴ（まろっと）リーナ」をご使用下さい。「m・ＡＲＯＴリーナ」が搭載する『m・ＡＲＯＴ（エム・アロット）（mechanical Automatic Row Tracer）』は、「ピタＲＯＷくん」が搭載する電気と油圧を利用した『ＡＲＯＴ（アロット）』とは異なり、重力とバランスを利用したきわめてシンプルな自動畦追従機構で、曲がった畦でもまるで畦が見えているかのように作用部が右に左にと動き、常に畦の中心を捉えます。ですから、２畦移植したビートを４畦処理しても、それぞれの畦の中心を見事に追従します。さらに、傾斜地で「草刈るチ」が谷側に流されても、「m・ＡＲＯＴリーナ」は流されることなく畦の中心を捉えます。そのうえ「ジョイナー」で隣同士の「m・ＡＲＯＴリーナ」を繋ぐと、畦への追従性がさらにあがります。また大きく成長し、トラクターのタイヤに踏まれる等して垂れ下がった葉は、「葉よけーナ」が押し除けるように作用し、除草作用部に葉が溜まるのを防いでくれます。しかも本体への取り付け取り外し、畦幅の変更はリンチピンでワンタッチで行える親切設計です。
（NMK・ＮＪＫは注文装備です）

注意：m・ＡＲＯＴリーナは精密な重心バランスを保つよう設計された商品です。除草タインを外したり、純正品以外のタインを取り付けたりすると作物列に自動追従する機能が損なわれ、本来の除草性能を発揮できなくなりますので絶対におやめ下さい。

●2ピース式深耕爪（特許）

ヒョウタン刃より深く畦間を耕すことができる深耕爪は、硬くなった畦間の排水性を良くします。しかも、ＮＣＫやＮＳＫの深耕爪より土塊を発生させません。さらに、シャンク部と刃先部の２ピース構造で、そのうえ、ロールピン１本での固定となっておりますから、消耗部分だけを低コストかつ簡単に取り替えることができます。ご使用になる方のコストダウンをお手伝いする親切設計となっております。なお、刃先には標準の深耕爪よりも作用幅が広いタイプ、「Ｗ１００」もございます。ほ場条件等に合わせて使用して下さい。
（Ｗ１００は別途ご購入下さい）

標準の深耕爪

Ｗ１００
（作用幅が広い）

●ゴロクラッシャー（特許）

深耕爪やヒョウタン刃などで浮かした大きな土塊は、ゴロクラッシャーがこっぱみじんに砕きます。高さ調節はハンドルでワンタッチで、しかも正確な目盛り付のため、いつでも簡単に適正な作用深さが得られます。さらには葉よけドロよけ側板付きなので、作物が小さい時にはゴロクラッシャーで砕かれてはみでた土が作物にかぶるのを防ぎ、作物が大きい時にはトラクターで踏まれた茎葉がゴロクラッシャーに巻き込まれるのを防ぎます。カマボコ培土など一部の作業を除けば、一回目から仕上げまで長期間使用することができるので、可能な限り取り付けたまま使用して下さい。
（NMK・ＮＪＫは注文装備です）
（ＮＡタイプとNM・ＮＪタイプは装着方法、調整方法が異なります。NM・ＮＪタイプは深耕チャックを利用して取り付けます。また、高さ調整はストッパーピンの穴位置による８段階調整です。）

NAKのゴロクラッシャー

NMK・NJKのゴロクラッシャー

草刈るチシリーズの機能を拡張するオプションパーツ（全年式対応）

m・まろっとリーナ tuned by m・AROT mechanical Automatic Row Tracer （特許）

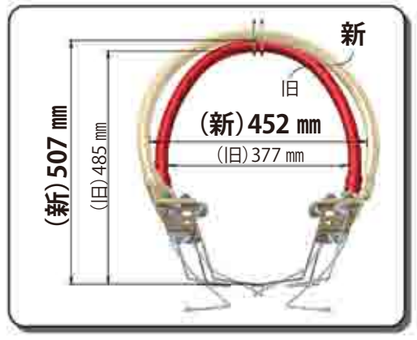
曲がった畦でも、横傾斜のきつい畑でも常に畦のど真ん中！
株間・根際をスッキリ除草！！

重力とバランスを利用したきわめてシンプルな自動畦追従機構『m・ＡＲＯＴ（エム・アロット）（mechanical Automatic Row Tracer）』を搭載した『m・ＡＲＯＴ（まろっと）リーナ』は、曲がった畦でも、２畦移植したビートを４畦処理しても、傾斜地で「草刈るチ」が谷側に流されても、まるで畦が見えているかのように作用部が、常に畦の中心を捉えます。
ですから、あらゆる作業条件でも、作物には優しく、雑草には厳しく作用し、「草刈るチ」シリーズの作業能率、除草効果、使いやすさを飛躍的に向上させます。

※：「m・ＡＲＯＴリーナ」は中・後期用の除草アタッチメントですが、移植ビートの初期除草には、ほ場の諸条件により、ご利用いただける場合があります。
注：「m・ＡＲＯＴリーナ」は精密な重心バランスを保つよう設計された商品です。除草タインを外したり、純正部品以外のタインを取り付けたりすると、作物列に自動追従する機能が損なわれ、本来の除草性能を発揮できなくなりますので絶対におやめ下さい。

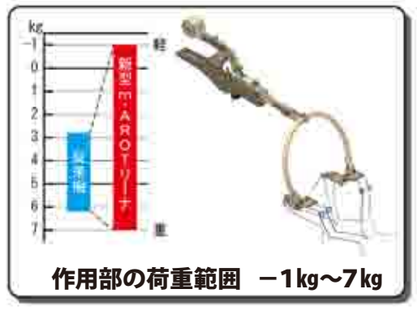
ポイント1 大きなアーチ

m・ＡＲＯＴアーチが従来より高さで２２㎜、幅で７５㎜大きい。アーチに茎葉等がぶつかりづらくなったので、より長期にわたってご使用いただけます。



ポイント2 広い荷重範囲

作用部の荷重範囲がグラフの通り２倍以上に広がり、バネを外さなくても作用部が浮き上がるまで調整できます。重たい方へも１kg近く強く作用させることができるので、軟らかい畑でも硬い畑でも、しっかりと一定の作用深さで作用させることが可能です。



作用部の荷重範囲　−1kg〜7kg

※草刈るチ（NAK-5，NAK-3）は標準装備

コルタイヤ （特許）

あれっ！？ 横傾斜なのに“草刈るチ”が流れない！！
「コルタイヤ」が“草刈るチ”の横流れを防ぎます

「ちょっとした横傾斜があると草刈るチが流されるから、株間輪やクサトリーナで作物の中心を捉えるのが難しいでしょ。うちの畑じゃ無理だね。」、「横傾斜で草刈るチを作物に合わせて操縦するのは神経を遣うから疲れる。」等、横傾斜の畑で草刈るチのご使用にお困りの方…。その問題点をこのコルタイヤ※1が解消します。コルタイヤをトラクターのタイヤ跡に取り付けて下さい。10°程度※2までの横傾斜なら、まるで平らな畑で操縦するかのように正確な畦合わせが可能となります。
「あれっ？うちの畑ってこんなに平らだったかな？」と思うくらい、コルタイヤがしっかりと草刈るチの横流れを防止してくれます。

※１：型式によりサイズが異なります（ＮＡＫ：１５インチ，ＮＭＫ・ＮＪＫ：１３インチ）、※２：ほ場の土質や水分条件、トラクターの種類等によって変わります。

ＮＡＫ用（１５インチ）

ＮＭＫ・ＮＪＫ用（１３インチ）

≪豆類、ばれいしょの初期除草に最適≫
●チェーン付くまで

豆類・ばれいしょの萌芽前後の除草に最適です。後部にはおもり付チェーンが装着され、均一な作用を提供します。また、チェーンを外すと、小豆の初生葉展開期以降の初期除草にも使用することができます。取り付けは「m・ＡＲＯＴリーナ」のm・ＡＲＯＴリーナフレームユニットに付いているm・ＡＲＯＴアーチと交換するだけですから、畦幅の変更もリンチピンでワンタッチで行えます。また、山の形状に対しては角度調整、土質に対してはバネによる荷重調整等、あらゆる条件に対応することができます。

≪場所を選ばず取付可能≫
●どこでもトレー

カルチ作業において、条件に合わせてアタッチメントを微調整することは非常に大切な事です。でも、機械の近くに調整する工具を保管する場所がないと大変不便です。そんな時は、この「どこでもトレー」をお使い下さい。カルチベーターの型式を問わず、フレームなどに簡単に向きや角度などお好みの状態で取り付けが可能です。機械の近くに工具や安全ボルトを保管できるので、より便利になります。この他にもマルチャー等、角パイプのサイズにさえ合えば、様々な機械に取り付けることが可能です。

≪NJKに工具、安全ボルトを常備できる≫
●スパナホルダー

草刈るチＪｒ．は、ＣＭＳ株間輪や中期用株間クサトリーナなど、作用幅や深さなどの微調整をより必要とするアタッチメントがあり、専用工具もあるのに機械の近くに調整する工具を保管する場所がない。そこで登場したのがこの「スパナホルダー」。この「スパナホルダー」を草刈るチＪｒ．のビームに装着するだけで、必要な専用の調整工具類だけではなく、安全ボルトも常備できるようになります。これで、気付いた時にすぐに工具を取り出して調整できるようになります。

（ＮＭＫは標準装備）

NAK シリーズ

●標準タイプ

■主な装備
●ウィングディスク●ヤナギ刃●ヒョウタン刃●深耕爪●ゴロクラッシャー●CMS株間輪●中期用株間クサトリーナ●m･AROTリーナ

「m･AROTリーナ」は標準装備です

「チェーン付くまで」はオプション装備です

NMK シリーズ

●標準タイプ

■主な装備
●ヤナギ刃●ヒョウタン刃●深耕爪●CMS株間輪●中期用株間クサトリーナ

＊オプション装備品が含まれています（「ウィングディスク」、「ゴロクラッシャー」、「m･AROTリーナ」）

■装備スタイル一覧

ウィングディスク付
ゴロクラッシャー付
m･AROTリーナ付
ウィングディスク、ゴロクラッシャー付
ウィングディスク、m･AROTリーナ付
ゴロクラッシャー、m･AROTリーナ付
ウィングディスク、ゴロクラッシャー、m･AROTリーナ付

NJK シリーズ

●標準タイプ

■主な装備
●ヤナギ刃●ヒョウタン刃●CMS株間輪●中期用株間クサトリーナ

＊オプション装備品が含まれています（「ウィングディスク」、「ゴロクラッシャー」、「m･AROTリーナ」）

■装備スタイル一覧

ウィングディスク付
ゴロクラッシャー付
m･AROTリーナ付
ウィングディスク、ゴロクラッシャー付
ウィングディスク、m･AROTリーナ付
ゴロクラッシャー、m･AROTリーナ付
ウィングディスク、ゴロクラッシャー、m･AROTリーナ付

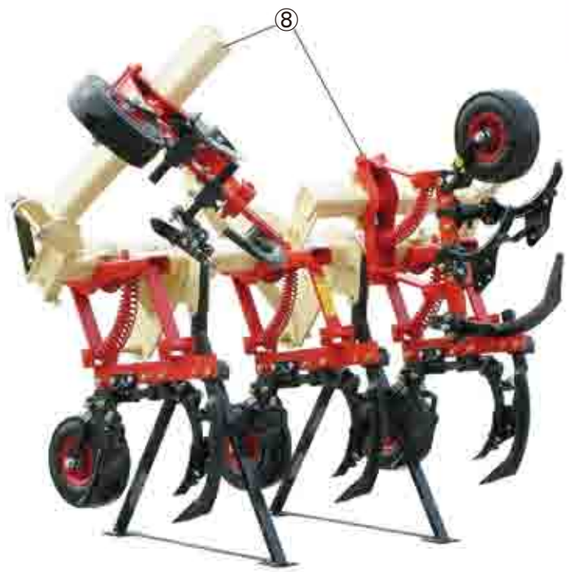
カルチベーター重量比較

数多く型式があるニチノーカルチベーター。装備内容による重量の違いを比較しましたのでご紹介いたします。

全国各地で活躍中 ー 3本爪カルチベーター

長年にわたりあらゆるほ場条件、気象条件のもと使用され、愛され続け、今なお全国各地でご使用いただけているのには理由があります。

① 頑丈なフレーム構造は、長い年月にわたって高い精度を保ち続けます。
② 横ぶれはカルチベーターの命取り。動く部分にはベアリングを使用しているため、長期にわたってガタが発生しません。
③ 畦幅固定は焼き入れボルトを使用してガッチリと締め付ける構造で、耐久性はバツグンです。
④ 独特のカーブドコンプレッションスプリングはトラクターのタイヤ跡が一段と強く、畑面を確実にグリップします。
⑤ 爪先は特殊鋼を熱処理しており、耐磨耗性バツグンです。
⑥ 障害物にぶつかると後方に押し上げられる「逃げ」があり、しかも万が一の時は、安全ボルトが切れるようになっています。
⑦ 波状に、起伏に、傾斜に、平地の鋤分けによる波状にも、常に一定の深度を保ちます。
⑧ 完全折りたたみ（収納時・道路走行時）と半折りたたみ（3畦作業時）どちらもワンタッチで可能です。
⑨ 施肥タンクも装着可能ですが、この場合でも完全折りたたみが可能です。



ほ場条件に応じて選べる豊富なバリエーション

ADK シリーズ

小型トラクターでも管理作業ができる超軽量カルチベーター

カルチベーターの専門メーカーとして信頼性、耐久性、使いやすさを追求した初代トラクター用カルチベーターです。
たった２０馬力のトラクターでけん引できるので、小回りが利き、軽管理作業に最適なカルチベーターです。
＜写真下は5畦処理型、上は3畦処理型＞

Photo:ADK-3

Photo:ADK-5

NCK シリーズ

普及台数No.1のスタンダードカルチベーター

ＡＤＫシリーズよりフレーム強度を２．５倍にすることで、畦間サブソイラーなみに深く中耕できるカルチベーターとしてデビュー。
以来、圧倒的な支持を得ています。
＜写真下は5畦処理型、上は3畦処理型＞

Photo:NCK-3

Photo:NCK-5

NSK シリーズ

石地帯での深耕作業で能力発揮

石れき地帯のみなさまのために安全ボルトの破断強度をNCKに比べて８５％アップさせて誕生した超強力ボディーのカルチベーター。
こんなに頑丈なのにトラクターは３５馬力もあれば十分にけん引できます。
石に衝突してもなんのその。普通の畑のように作業ができます。
＜写真下は5畦処理型、上は3畦処理型＞

Photo:NSK-3

Photo:NSK-5

特別仕様カルチベーター シリーズ（受注生産品）

標準のカルチベーターでは対応できない作物に対応

ＮＣＫのフレームをベースに独特な作付条件の作物に対応したカルチベーターを生産します。
※受注生産品ですので詳しくは担当セールスにご相談下さい。
※仕様によっては対応しかねることもあります。

NCK-43
スイートコーン専用・5本爪タイプで
90～100cmの広い畦幅に対応。

施肥カルチベーター シリーズ

一度に追肥もこなしたい方へ便利な一台

中耕・除草と同時に追肥作業も完了します。施肥部は信頼性の高いタバタ式を採用しています。
また、いずれのタイプも完全折たたみが可能です。

ADKS-5

完全折りたたみ時

作業時

NCKS-5

完全折りたたみ時

作業時

この他
NSKS-5，NSKS-3
NCKS-3，ADKS-3
もご用意しております。

中耕・除草・培土のバリエーションを拡げる10種類の爪　お好みの仕上がりとなる爪をお選び下さい

全て古い年式のカルチベーターにも適合できるよう考え抜かれたアタッチメントです

ニチノーでは、対象作物や用途に合わせて対応できるよう様々な形状の爪をご用意しております。写真は畦間の中心を基準に処理するタイプの爪※1で時速４㎞で処理した時の仕上がり※2です（点線は処理前の地面の位置）。お好みの仕上がりとなる爪をお選び下さい（詳細は中面をご覧下さい）。

※1：表示以外のアタッチメントもございます（次ページ以降に掲載）。　※2：土質、圃場の水分状態、作業深さ、作業速度等で変わります。

コンコルド

ひろく、浅く、美しく！！

●作用幅約２７㎝で、浅く、土をあまり移動させずに中耕除草

スコッ刃

狭く深い溝で収穫楽チン

●作用幅約１５㎝で、ヒョウタン刃とカスベ刃の中間的土量の土寄せ

カスベ刃

軽い土寄せが可能

●作用幅約２２㎝で、きわめて少ない土量の土寄せ

イーグル羽根（刃先小）

畦間は浅く、根際にしっかり

●畦間は浅く、根際にはしっかりと土寄せが可能
●両脇のゴム板は自在に調整可能
●刃先（大）も装着可能
（仕上がり写真は左ページ左下）

イーグル羽根（刃先大）

畦間は浅く、根際にしっかり

●畦間は浅く、根際にはしっかりと土寄せが可能
●両脇のゴム板は自在に調整可能
●刃先（小）も装着可能
（仕上がり写真は右ページ右上）

フレキシ培土器（刃先小のみ）

土量・形状が自由自在

●４ピース構造で組み合わせやウィングの出し入れで自在に培土量・形状を調整可能
●刃先（大）の選択も可能
●フレキシ培土器の中で、最も土量が少ないスタイル
（他のスタイルによる仕上がりは右２つの写真を参照）

フレキシ培土器（刃先小・ウィング・アッパー装着）

土量・形状が自由自在

●４ピース構造で組み合わせやウィングの出し入れで自在に培土量・形状を調整可能
●刃先（大）の選択も可能
●フレキシ培土器の中で、中間的土量の土寄せが可能なスタイル
（他のスタイルによる仕上がりは両脇の写真を参照）

フレキシ培土器（刃先大・ウィング・アッパー装着）

土量・形状が自由自在

●４ピース構造で組み合わせやウィングの出し入れで自在に培土量・形状を調整可能
●刃先（小）の選択も可能
●フレキシ培土器の中で、最も土量が多いスタイル
（他のスタイルによる仕上がりは左２つの写真を参照）

カルチ　アタッチメント

■コンコルド

●適応年式・型式
S52以降の全型式

ひろく、浅く、美しく！！

●約27cmの幅で浅く、土をあまり移動させずに中耕除草ができます。
●ボルト1本（付属）でヒョウタンシャンクに取付可能。
●きわめて特殊な材質を使用していますので、耐磨耗性はバツグン。

※ヒョウタンシャンクは付いておりません。

■スコッ刃（意匠）

●適応年式・型式
S52以降の全型式

狭く深い溝で取穫楽チン

●ヒョウタン刃とカスベ刃の中間的土量の土寄せができます。
●ビート収穫時のガイド用溝付けとして、あまり土を寄せずにしっかりとした溝を形成します。
●豆類の仕上げ前の軽い土寄せにも最適です。
●ヒョウタンシャンクに取付可能。

※ヒョウタンシャンク、取付ボルトは付いておりません。

■カスベ刃

●適応年式・型式
S52以降の全型式

軽い土寄せでキレイに仕上げ

●豆類・ビートの仕上げのときにきわめて少ない土量の土寄せができます。
●ヒョウタンシャンクに取付可能。

※ヒョウタンシャンク、取付ボルトは付いておりません。

■イーグル羽根（EW-01）（特許）

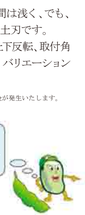
●適応年式・型式
S52以降の全型式

カスベ刃じゃ物足りない、フレキシ培土器じゃぁ大きすぎるという方へ

ヒョウタンシャンクに専用ボルトで取り付けるだけで、カスベ刃のように畦間は浅く、でも、フレキシ培土器のように根際にはしっかりと土を寄せることができる培土刃です。
しかも、取り付け方は上下２通り。そのうえ両脇にあるゴム板は、伸縮や上下反転、取付角度、高さなど付け方が自在です。さらに刃先も大・小２種類※あるので、バリエーション豊富にセッティングが可能です。

※刃先（大）が標準装備です。刃先（小）が必要な場合は別途料金が発生いたします。
※ヒョウタンシャンクは付いておりません。

畦間は浅く、根際はしっかり土寄せ！
大きく成長した僕たちが倒伏しづらくて、
とってもイー（グル）羽根だよ!!



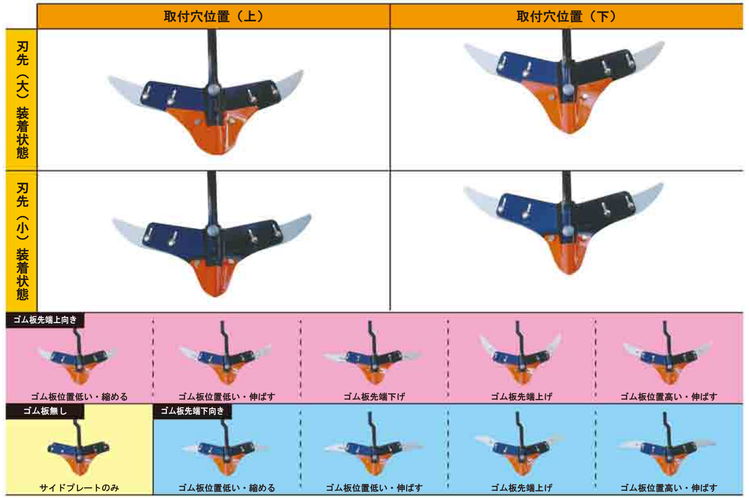
お手持ちのヒョウタンシャンクに簡単に取付可能。

主羽根には上下２つの取付穴があります。

刃先は大・小２種類あります。（大が標準装備、小は別途ご購入下さい。）

ゴム板にはバネ鋼が入っていて、しっかりと土を寄せていきます。

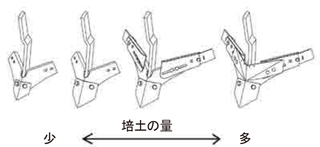
ゴム板の裏側のサイドプレートは、ゴム板とは別に調整可能。



■フレキシ培土器（FR-01）（特許）

●適応年式・型式：S52以降の全型式
※NC、NSシリーズで深耕爪を併用する場合は深耕チャックが必要です。

お好みの土量、形状に仕上げる調整自在な培土器



名前の由来のとおり、フレキシブル（自在）に培土量と山形状を調整できるのには、当社ならではの工夫があります。
図のように目盛り付ウィングは、目盛りに従って出し入れをすれば土量調整が簡単に行えます。また、そのウィング先端に付いているゴム板は、３段階に角度調整が可能となっているので土の逃がし方も簡単に調整できます。さらに４ピース構造で、しかも大小２種類の刃先※が取付可能なので組み合わせ方しだいでは用途の幅が一段と拡がります。
まさにご使用になる方の思いのままに調整できる画期的な培土器です。

※ご購入の際に大小いずれかの刃先をお選び下さい。

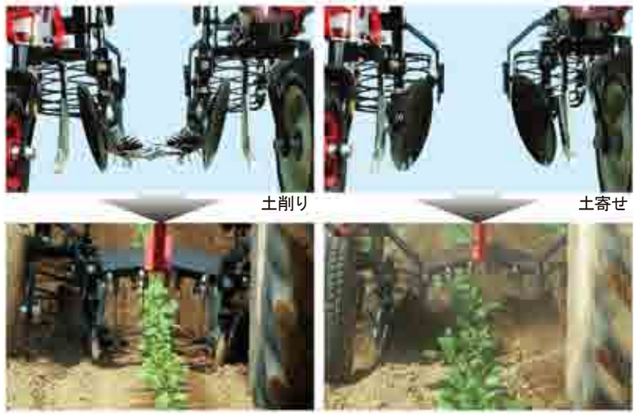
■主な適応処理作業
◎小豆の仕上げ作業（畦幅60cm以上）
◎大豆の仕上げ作業（畦幅60cm以上）
◎菜豆類の仕上げ作業（畦幅60cm以上）
◎ビートの仕上げ作業（畦幅60cm以上）
◎ばれいしょの仮培土（畦幅66～75cm）

■ウィングディスク

●適応年式・型式
S５２以降の全型式

幼少期の作物のカルチ作業が一変！

従来の爪では不可能だった「土削り」、「土戻し」を可能にし、カルチ作業による作物への覆土を防ぎます。



取り付け、調整はすべてボルト1本で行える

●ヤナギ刃からの交換も…
●「土削り」、「土寄せ」の組み替えも…
●深さ調節も…
●ディスクの角度調節（約１４°）も…
●作用幅の変更も…

さらにウィングディスクによる効果は…

●「土削り」は、根際にカドを作るので除草クリーナーの効果を高めます。
●「土削り」は、根際の土を動かさないので土壌処理剤の効果を長く持続させます。
●「土削り」は手取り除草の能率を大幅に高めます。
●作物に土をかけないので、ビート、豆類の初期除草用として最適です。
●「土寄せ」は作物に上からソフトに土をかぶせるので、ばれいしょの萌芽期培土に最適です。

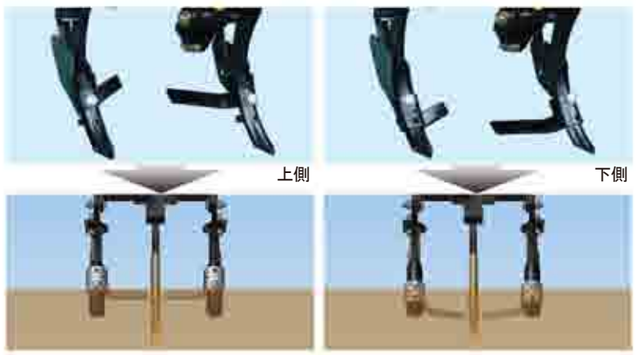
※草刈るチ（NAK-5，NAK-3）は標準装備

NEW ■やなブレード

●適応年式・型式
S５２以降の全型式

畦間の中耕・除草効果がアップ

ヤナギ刃に取り付けるだけで、畦間の中耕・除草効果が上がります。



●付属の専用ボルトで簡単に取り付け可能。
●取り付け位置は上下２段階。
●上側に取り付けると、畦間の表層近くに作用し、除草効果が上がります。
●下側に取り付けると、畦間の深い位置で作用し、畦間をより膨軟にします。

■やすみば式ジョソウクリーナー（H5）

●適応年式・型式
S５２以降のAD，NC，NSシリーズ

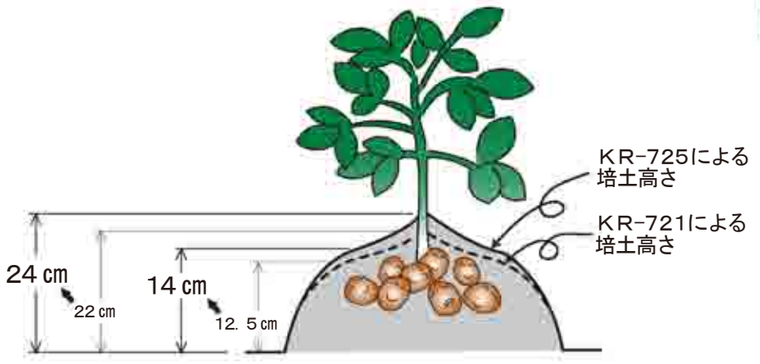
AD，NC，NSシリーズに手軽に取り付け可能

AD，NC，NSシリーズに手軽に取り付けができる除草アタッチメントです。

■カマボコ培土器（KR-725）

●適応トラクター：33kW{45PS}以上　●適応畦幅：66～75cm
●適応カルチベーター：ニチノー　NC，NS，NM，NAシリーズ

カマボコ培土器（ＫＲ－７２５）は、ニチノーの今までの培土器（ＫＲ－７５，ＫＲ－７２，ＫＲ－７２１）の良い所を凝縮した慣行時期培土器の決定版です。従来よりばれいしょの生育範囲を大きく保つために山を高く、また窒息しないように柔らかく、しかし崩れないようにしっかりとしたカマボコ型をプラスチック製こすり鎮圧板できれいに形成します。しかも、ラバープレートが根際までしっかりとソフトに土を寄せるので、てっぺんには凹みができず、水が溜まることによる緑化イモの発生を防ぎます。そのうえ適応畦幅が６６㎝～７５㎝と幅広く、培土後の溝幅も１２㎝と広いため、管理作業で畦間に入る必要が多い方に最適です。



なぜ培土器はカマボコ型がいいのか…？

ばれいしょの培土に定評の「カマボコ培土器」・「早慣カマボコ培土器」ですが、なぜカマボコ型の培土器がいいのでしょうか。

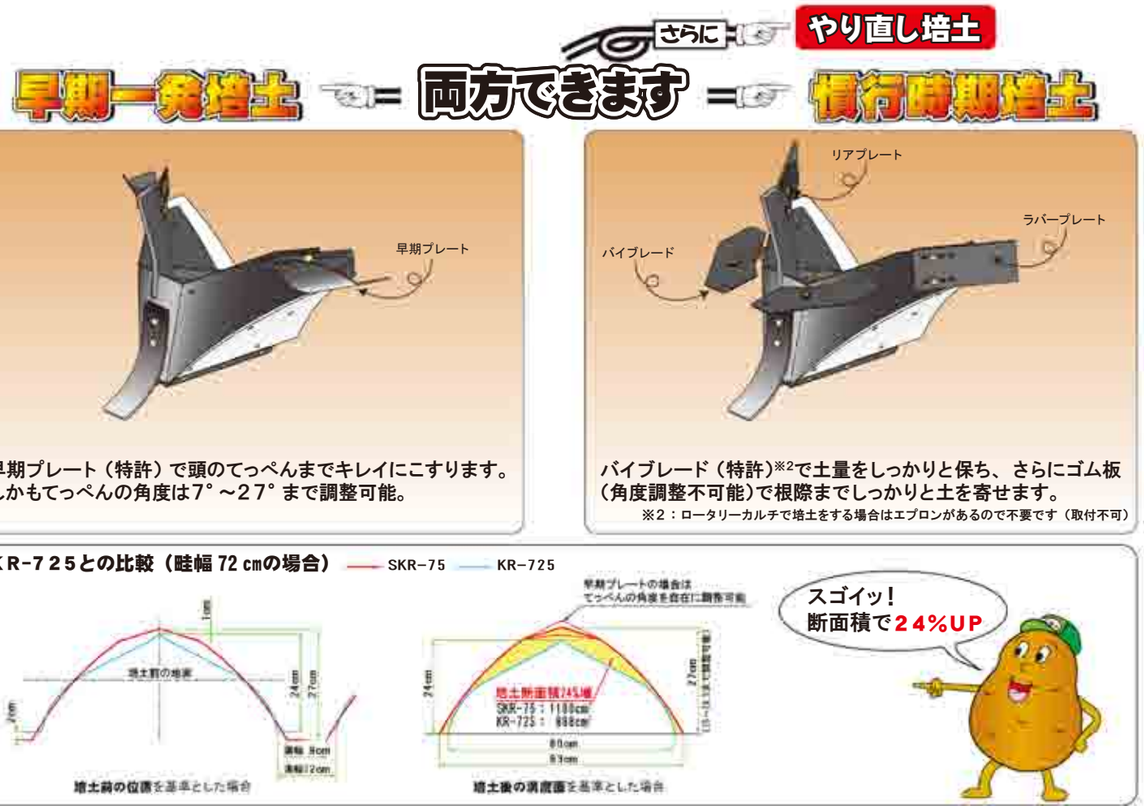
1．培土容積が大きいのに崩れにくいので、ばれいしょが生育する範囲にゆとりがあります。
2．適応畦幅が広く、また早期培土、慣行時期培土とお客さまのニーズに合わせて対応します。
3．「ニチノー」カルチベーターとの相性はバツグン！！特に、「草刈るチ（NAK）」と絶妙のコンビネーションで安定した培土を提供します。
4．コバシ「中耕ローター」と専用アダプターを使えば、土塊の少ないロータリー培土もできます。

■早慣カマボコ培土器（SKR-75）（意匠）

●適応トラクター：33kW{45PS}以上　●適応畦幅：72～75cm
●適応カルチベーター：ニチノー　NC，NS，NAシリーズ

早慣カマボコ培土器（ＳＫＲ-７５）は、従来のカマボコ培土器（ＫＲ-７２５）より培土量が格段に多くなり、またアタッチメントを付け替えるだけで、「慣行時期培土」はもちろん、ロータリーカルチ※1を使用しての「早期一発培土」、さらには培土後の表面に発生してしまった地割れや崩れてしまった山を修復する「やり直し培土」等、あらゆる時期や条件に応じて使用できる培土器です。ただし、適応畦幅が７２㎝以上となっておりますので、７２㎝未満の畦幅の場合はＫＲ-７２５をご使用下さい。

※1：ロータリカマボコアダプターが必要となります。



●早期培土と慣行時期培土……どちらが適している？

早期培土は省力化、品質の向上、収穫時の土塊の減少などが期待されておりますが、品種によって早期培土と慣行時期培土のどちらが適しているかといった疑問があるかと思われます。そこで、品種による早期培土と慣行時期培土の違いを調べた資料があるのでここに紹介させていただきます。

表1．生育収量の比較（北海道立十勝農業試験場、平成16年～平成18年の平均）

品種	培土法	萌芽期	枯凋期	茎数（本／株）	早掘り（g／株）	慣行比（%）	1個重（g）	イモ数（個／株）	規格内重（kg／10a）	慣行比（%）	規格内率（%）	S規格（%）	緑化（%）
男爵薯	慣行	5月 28日	9月　3日	4.2	387		89	11.3	3840		87	12	1
	早期	6月　2日	9月　5日	3.6	421	108	92	10.7	3820	100	88	11	1
ワセシロ	慣行	5月 29日	8月 30日	3.6	314		105	9.5	3802		87	8	1
	早期	6月　1日	8月 30日	2.3	402	134	125	8.3	4022	106	87	4	1
メークイン	慣行	5月 30日	9月　7日	4.7	269		74	13.2	3196		74	21	3
	早期	6月　2日	9月　5日	3.9	340	126	83	12.1	3553	111	80	15	2
トヨシロ	慣行	5月 31日	9月　9日	3.5	364		112	9.2	3990		89	8	1
	早期	6月　4日	9月　8日	3.0	407	112	107	9.5	4117	103	92	7	1
さやか	慣行	5月 31日	9月 15日	3.0	289		117	9.5	4646		94	6	0
	早期	6月　4日	9月 15日	2.1	397	142	129	8.7	4687	101	94	4	0
スノーデン	慣行	5月 29日	9月 21日	4.0	174		95	11.5	4233		89	8	3
	早期	6月　2日	9月 19日	3.3	239	147	116	9.1	4365	103	93	4	2
ホッカイコガネ	慣行	6月　2日	9月 26日	3.4	220		124	10.0	4768		88	7	2
	早期	6月　5日	9月 25日	2.9	283	137	133	8.6	4406	93	87	6	2

注意）早掘り：（開花期のほぼ10日後）のいも重（２kg以上）、規格内重：「男爵薯」、「ワセシロ」、「メークイン」は60～260g、その他の品種は60～340g、S規格：60ｇ未満

上の表をご覧いただくと早期一発培土の方が良いように思われるかもしれませんが、ニチノーはどちらが良いとは断言できないと考えております。なぜなら、表２にもあるように、この表は淡色黒ボク土だけでの試験結果であるからです。
ですから、ばれいしょを栽培するほ場の土質や水分、その年の天候、その時の栽培品種など、さまざまな条件によって、その都度、早期一発培土法が適していたり、慣行培土法が適していたりと変わると考えております。
つまり、早期一発培土と慣行時期培土の使い分けが大切だと考えております。
左の「早慣カマボコ培土器（ＳＫＲ-７５）」であれば、早期一発培土、慣行時期培土、そのうえやり直し培土などあらゆる時期の培土に適応できるので、ご使用になる方の判断で最適な培土を提供できることをお約束いたします。
なお、早期培土をする場合の概要を参考までに表２でご紹介いたします。

表２．早期培土栽培の生産技術体系の概要と栽培特性

作業名	時期	内容
施　肥・植　付	4月下旬～5月中旬	・慣行栽培に同じ ・多湿黒ボク土、細粒質褐色低地土で植付時耕盤砕土が有効
培　　土	5月下旬～6月上旬	・砕土装置付培土機を使用（萌芽期まで）
除草剤散布	5月下旬～6月上旬	・培土後萌芽前散布（土壌水分が適度にある時に散布する）
管　理　作　業	6月上旬～9月中旬	・中耕作業は行わない（２時間／ｈａ程度の短縮） ・除草剤の効果が得られなかった場合には、乗用管理機による機械除草が可能 ・病害虫防除は慣行栽培に同じ
収　穫　作　業	8月下旬～10月上旬	・土塊混入量が減少、作業能率向上（２時間／ｈａ程度の短縮）
慣行栽培に対する生育特性（淡色黒ボク土）		・萌芽期が遅れるが、初期肥大が優る ・上いも数が同等か少なくなり、１個重は同等か大きくなる ・規格内重および規格内率は同等か優る ・１個重が比較的小さい品種およびストロンが長く緑化が発生しやすい品種で規格内率が高まる

表１，２出典）北海道立十勝農業試験場、ばれいしょ早期培土栽培の生産性向上技術（高品質ばれいしょ生産を目指した省力培土・収穫技術）（2007）

●培土のタイミングに気をつけましょう

培土作業をする際には、ほ場の水分状態と培土時期の天候状態に注意をして行ないましょう。
- 培土時のほ場は適度に水分がある方が良いですが、水分がありすぎると培土表面が乾いた時、表面にひび割れが起きる危険性が高くなります（ひび割れは緑化イモの発生の原因となります）。
- 降雨が近い時期の培土はやめましょう。培土後、培土した土が安定するまでに数日かかります。培土後にすぐに雨に叩かれると、表面にひび割れが発生しやすくなります。

カルチ　アタッチメント

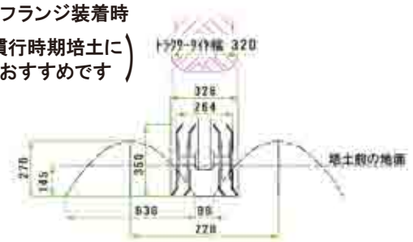
■ロータリーカマボコアダプター

●適応機種：コバシ 中耕ローターシリーズ
<K300・500, K302・502, K305・505, V300N・500N>

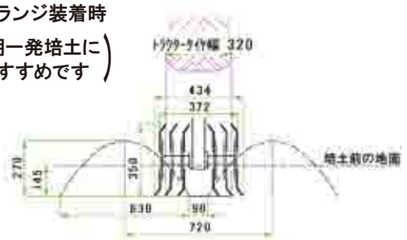
コバシ「中耕ローター」シリーズにアダプターを取り付けるだけで、カマボコ培土器がロータリーカルチにも使用でき、土塊の少ないロータリー培土ができる。「中耕ローター」が土壌を細かく粉砕するので、土質や水分状態に左右されず、慣行時期培土はもちろん、早期一発培土まで低コストで行なえます。しかもカマボコ培土器が砕きたての土を高く、柔らかく、崩れないように最高の仕上がりを提供します。さらに収穫の際、ハーベスターのコンベヤ上に土塊が上がらないので収穫作業の能率アップにも大きく貢献します。

コバシ ハイパーカルチ V500N装着時　「ハイパーカルチ」がトラクターの踏圧で出来た硬盤層をしっかりと砕くので、硬い土壌層のないソフトな培土ができます。使用する時期に応じて作用幅（フランジの枚数）を変えるとより効果的な培土が行えます。

2フランジ装着時
（慣行時期培土におすすめです）



3フランジ装着時
（早期一発培土におすすめです）



ストロンを傷つけないためにも生育状況に合ったフランジ枚数で作業されることをお薦めします。また「ハイパーカルチ」の使用に際しては、「ハイパーカルチ」の取扱説明書をお読みになってからご使用下さい。

■装備一覧

●＝標準装備
○＝選択装備（別途料金が発生いたしません）
△＝注文装備（別途料金が発生いたします）

	NAK-5	NAK-3	NMK-5	NMK-3	NJK-5	NJK-3	NCK-5	NCK-3	NSK-5	NSK-3	ADK-5	ADK-3	NCKS-5	ADKS-5
■フレーム・ヒッチ系統														
ワンタッチロック式軽々ツイストフォルダー	●													
3ポジションロック式軽々フォルダー			●		●									
ヒンジピン（松葉ピン付）			●(2)		●(2)		●(4)		●(4)		●(2)		●(4)	●(2)
ヒンジストッパー							●		●		△		●	△
ロワーリンクワンタッチヒッチ	●	●												
■ビーム系統														
可変2ステージサスペンション（スペーサー付）	●	●												
マルチアジャスタブルサスペンション			●	●	●	●								
ねじクランプ	●	●												
ロータリースペーサー付チャックブラケット	●	●												
ホイールブラケット	●	●												
ブラケット							●	●	●	●	●	●	●	●
深耕チャック			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
深耕チャック（極太）*1			△	△					●	●				
■中耕・深耕・培土系統														
ヤナギ刃（スライドシャンク・足・ウィング付）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
やなブレード（ボルト付）	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
ヒョウタン刃（足付）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
深耕爪（土塊減少型・中太）<2ピース式>	●	●												
深耕爪（W100）<2ピース式>	△	△												
深耕爪			●	●			●	●	△	△			●	
深耕爪（極太）			△	△					●	●				
ゴロクラッシャー*2	●	●	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
ウィングディスク（スライドシャンク付）	●	●	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
コンコルド（ボルト付）	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
カスペ刃	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
スコッ刃	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
イーグル羽根（EW-01）（ボルト付）	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
フレキシ培土器（FR-01）	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
カマボコ培土器（KR-725）	△	△	△	△			△	△	△	△			△	
早慣カマボコ培土器（SKR-75）	△	△	△	△			△	△	△	△			△	
■株間除草系統														
CMS株間輪<非粘土地用>	●	●	●	●	●	●								
CMS株間輪トガリ爪<粘土地用>	○	○	○	○	○	○								
中期用株間クサトリーナ（除草クリーナー付）	●	●	●	●	●	●								
m・AROTリーナ	●	●	△	△	△	△								
チェーン付くまで	△	△	△	△	△	△								
やすみば式ジョソウクリーナー（H5）							△	△	△	△	△	△	△	△
■足廻り系統														
フリーホイールアジャスター	●	●	●	●	●									
タイヤスクレッパー	●(3個)	●(1個)	●(3個)	●(1個)	●(3個)	●(1個)	△	△	△	△	△	△	△	△
8インチ 大径タイヤ	●(3個)	●(1個)	△	△	△	△								
コルタイヤ	△(15インチ)	△(15インチ)	△(13インチ)	△(13インチ)	△(13インチ)	△(13インチ)								
■付属品・その他														
標準安全ボルト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
専用スタンド	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	
専用スタンド用キャスターホイール	△	△					△	△	△	△			△	
大リンク用カラー	●	●												
畦幅アジャスター	●	●												
ねじクランプ用スパナ	●	●												
調整用スパナ	●	●	●	●	●	●								
CMS調整用板ラチェットレンチ	●	●	●	●	●	●								
スパナハンガー	●	●												
スパナホルダー			●	●	△	△								
どこでもトレー	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

■主要諸元

品名	カルチベーター													
愛称	草刈るチ		草刈るチmid.		草刈るチJr.		3本爪カルチ							
型式	NAK-5	NAK-3	NMK-5	NMK-3	NJK-5	NJK-3	NCK-5	NCK-3	NSK-5	NSK-3	ADK-5	ADK-3	NCKS-5	ADKS-5
規格	5畦	3畦	5畦	3畦	5畦	3畦	5畦	3畦	5畦	3畦	5畦	3畦	5畦	5畦
処理畦数	4	2	4	2	4	2	5	3	5	3	5	3	5	5
適応トラクター（kW{PS}以上）	33{45}	26{35}	26{35}	20{27}	20{27}	15{20}	20{27}	15{20}	26{35}	20{27}	15{20}	11{15}	20{27}	15{20}
カテゴリー	Ⅰ，Ⅱ*3													
装着方法	3点直装													
全長*4（mm）	1,160		1,055		1,010		810		950		790		1,500	1,450
全幅*4（mm）	3,266	1,690	3,200	2,060	3,200	2,060	3,190	1,775	3,190	1,775	3,190	1,775	3,190	
全高*4（mm）	1,300		1,100		1,150		1,050		1,075		1,105		1,325	1,340
重量*4（kg）	430	243	310	196	200	118	295	180	319	197	220	135	378	303
自動高低ストローク（mm）	250		235		245		125		115		155		125	155
最高作業深度（mm）	380		380		—		380		430		—		380	—
適応作業畦幅*5（mm）	600～750													
作業能率（a/h）	80～190	40～110	80～190	40～110	80～190	40～110	80～190	40～110	80～190	40～110	80～190	40～110	50～100	50～100
施肥箇所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	

＊3：ロワーリンクピンは小リンクが標準です。大リンクをご希望のお客様はあらかじめ担当セールスにお申しつけ下さい。＊4：NAK・NMK・NJKはフレーム単体のときの値です。装備内容によっては変化いたします。それ以外の型式はアタッチメントを含めた値です。＊5：CMS株間輪の適応畦幅は600～690mmの範囲となっております。畦幅700mm以上でCMS株間輪をご使用になる場合、CMS株間輪は特別仕様となりますので、あらかじめ担当セールスにお申し付け下さい。

■アタッチメント重量*6（kg）

ヤナギ刃（スライドシャンク・足・ウィング付）	8.4	深耕爪（W100）<2ピース式>	5.5	ゴロクラッシャー（大）	12.2	イーグル羽根（足無）	2.0	CMS株間輪トガリ爪	12.6
やなブレード	0.8	深耕爪	3.5	ゴロクラッシャー（小）	12.0	フレキシ培土器	5.3	中期用株間クサトリーナ（除草クリーナー付）	1.8
ウィングディスク（スライドシャンク付）	11.6	深耕爪（極太）	5.6	コンコルド（足無）	1.6	カマボコ培土器	11.1	m・AROTリーナ	19.0
ヒョウタン刃（足付）	2.8	ゴロクラッシャー（NAK専用－大）	13.2	カスペ刃（足無）	0.7	早慣カマボコ培土器	15.0	チェーン付くまで	9.6*7
深耕爪（土塊減少型・中太）<2ピース式>	5.4	ゴロクラッシャー（NAK専用－小）	13.0	スコッ刃（足無）	0.8	CMS株間輪	11.6	やすみば式ジョソウクリーナー（4畦処理分）	14.0

＊6：各アタッチメントの1畦処理分の重量です。各作業時における重量計算の参考データとして下さい。＊7：チェーン専用のおもり4個分が含まれています。